

令和8年度事業計画

令和8年度 法人重点目標

- ＊ 運営基準の遵守と監査に対応できる運営体制の強化
- ＊ 介護報酬改正に対応出来る経営や財政基盤の強化と、ICT や AI を活用した効率的な事業運営を徹底する。
- ＊ 安定した利用者数を維持するために、居宅介護支援事業所への訪問と連携、温水ケアセンターの周知活動の徹底。
- ＊ 新興感染症や大規模災害後の施設事業が速やかに継続できる体制を整える。また、BCP 計画に沿った感染症及び自然災害を想定した研修や訓練を実施する。
- ＊ 施設内外における虐待及びハラスメント防止の徹底及び、研修の実施

通所介護事業

令和8年度の通所介護事業の経営目標は、前年度と同じく、月の延べ利用者数900名、年間の延べ利用者数10,800名、保険料収入は月870万円、年間の介護事業収入の合計は1億800万円を目標にする。

目標を達成するためには、職員の経営や営業に関する意識を高めるための会議を定期的開催し、温水ケアセンターの体制で算定できる加算があれば、積極的に活用し、温水ケアセンター独自の施設環境のPRを居宅介護支援事業所に積極的に行っていく。また利用者獲得の方策を理事、評議員を交えて企画し、実行する。また、目標を達成するのに必要な安定した職員数を確保するため、ハローワークや職員募集のチラシなどを、有効に活用していく。

また、施設内での新興感染症の感染を防止するために、職員、利用者のマスク、手洗い、検温、室内換気、センター内や送迎車の消毒などを継続して徹底して行う。また、新興感染症の情報は、いち早くご利用者や職員に報告し、ご利用者、職員から絶対に感染者を出さないように努める。

また、ご利用者に対しては、その人が生きてきた人生を尊重しながら、その生き方や思いに出来るだけ寄り添える介護に取り組む。

また、介護職員としての資質をより向上させるために、研修会議や実習に積極的に参加する。

訪問介護事業

訪問介護の令和8年度の経営目標は、月の延べ利用者数300名、年間の延べ利用者数3600名、保険料収入は月60万円、年間の介護事業収入の合計は720万円を目標にする。

目標を達成するためには、紹介していただいたケアマネジャーの要望を出来る限り聞き入れると共に、地域的な制約をできるだけ緩和する。また、利用者のニーズに対応する為の、安定した職員数を確保するため、ハローワークや職員募集のチラシなどを、有効に活用していく。

また、新興感染症の感染防止のため、職員のマスク、手洗い、フェイスシールドの装着、検温や、訪問先の室内換気や消毒を徹底して行い、利用者、職員から絶対に感染者を出さないように努める。

ご利用者に対しては、その人が生きてきた人生を尊重しながら、その生き方や思いに出来るだけ寄り添える介護支援に取り組む。また、自らの資質をより向上させるために、会議や研修に積極的に参加する。

障がい者福祉サービス事業

経営目標は、令和8年度については、月の延べ利用者数4名、年間の延べ利用者数50名、保険料収入は月2万5千円、年間の障害福祉事業収入の合計は30万円を目標にする。

目標を達成するためには、厚木市障害福祉課や、障害者総合相談室（ゆいはあ等）との連携を密にし、利用等の相談があった場合は、積極的に引き受けられるように体制を整えておく。また個人で直接温水ケアセンターに申し込まれる方もいらっしゃるので、施設内での情報の共有を徹底する。

また、新興感染症の感染拡大を防止するため、職員のマスク、手洗い、フェイスシールドの装着、検温。訪問先の室内換気や消毒を徹底して行い、利用者、職員から絶対に感染者を出さないように努める。

ご利用者に対しては、その人が生きてきた人生を尊重しながら、その生き方や思いに出来るだけ寄り添える介護支援に取り組む。また、自らの資質をより向上させるために、会議や研修に積極的に参加する。

独自配食業務

独自のサービスとして夕食の配達を行う業務である。令和8年度の配食利用については、月40食、年間で500食。利用収入は月3万円、年間で40万円程度を目標とする。